一般社団法人　和歌山県臨床検査技師会　会報

WAMT bulletin

2019
後期
74

第40回和歌山県医学検査学会　実行委員のみなさま

ちょっとムリのある合成・・・
すみません（汗）

CONTENT

・和歌山県医療従事功労者賞受賞　中村　好伸技師
・保健衛生医事功労者に対する和歌山県知事感謝状　田原　靖子技師
・第20回医療セミナーinわかやま
・全国「検査と健康展」和歌山会場
・わかやま健康と食のフェスタ2019
・ベッドサイド実践講習会
・和臨技災害フォーラム2019
・世界エイズデーイン2019和歌山
・第40回和歌山県医学検査学会関連行事
・第40回和歌山県医学検査学会
・意見交換会
・連盟だより
・編集後記

2020.04.30
☆和臨技☆
現在の会員数
385名
メーリングリスト
登録者
293名

みなさん、お元気ですか？
コロナに負けてませんか？！

みかんねえちゃん：みかこ

令和元年度 和歌山県医療従事功労者賞
中村　好伸　技師（和歌山県立医科大学附属病院）
受賞　おめでとうございました！

竹中会長と中村技師

令和元年度　和歌山県医療従事功労者賞を受賞して
和歌山県立医科大学附属病院　中央検査部　中村　好伸　技師

令和2年２月１９日和歌山県庁4階正庁において、令和元年和歌山県医療従事功労者賞の表彰式を行っていただきました。折しも新型コロナウイルスで県が対応で大変な時でした。

今回この様な栄えある功労者賞を受賞して、大変うれしく思っています。
これもひとえに、式典にご臨席賜りました竹中会長をはじめ和歌山県臨床検査技師会の会員皆様のご指導の賜物と感謝しています。

表彰状の内容は、「あなたは永年にわたり　高い専門性をもちチーム医療の推進に多大の貢献をされました　ここにその功績をたたえ和歌山県医療従事功労者賞を贈ります」です。和歌山県臨床検査技師会の活動を県が認めてくれているのだな、これからもしっかり医療に貢献していかなければいけないな、と心新たになりました。

本当にありがとうございました。

令和元年度　保健衛生医事功労者知事感謝状贈呈
田原　靖子　技師　（新宮市立医療センター）
おめでとうございました！

田原技師

令和元年度　保健衛生医事功労者知事感謝状を受賞して
新宮市立医療センター　中央検査部
田原　靖子　技師

令和元年度、保健衛生功労者知事感謝状を受賞いたしました。
このような素晴らしい賞をいただけましたのは、和歌山県臨床検査技師会、会長をはじめ会員の皆様のお陰です。ありがとうございました。

これまでの、臨床検査技師としての自分を振り返ってみると、色々なことがありました。
その中で、一番良かったと思うことは、検査に対する気持ちに揺るぎなく年月を過ごせたということです。
同じことを繰り返す日常検査、ため息をつきたくなるときもありました。
そんな時は、自分が最初に検査業務をした時の気持ちを思い出し、心の中で「初心忘るべからず」と唱えてリセットしてきました。
あの頃は必至でこの細胞は何だろう、生化学データは本当にこれで間違ってないのだろうかと不安を抱えて仕事をしており、その不安を無くすため、自分の関わっている検査項目に関しては、家に帰ってから、詳細にノートにまとめていました。

私としては、まだまだ学ぶべきものがたくさんあり、それと同時に後輩たちに伝えたいこともたくさんあります。
今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

第20回

医療セミナー In わかやま

令和元年10月19日(土)
イオンモール和歌山
3階イオンホール

日本は世界でもトップクラスの長寿国ですが 、最近では 単に長寿であることではなく、健康で自立した生活を送ることができる『健康寿命』への関心が高まっています。今回はおふたりの先生に、全身の血管に起こりえる様々な病気の原因となる動脈硬化症についてご講演いただきました。

●『脳卒中 ―予防と治療の最前線― 』
和歌山県立医科大学附属病院
脳神経外科　助教　石井政道　医師

●『心血管病の予防と治療
―心臓、脳を守るために必要な事 ―』
和歌山県立医科大学附属病院
循環器内科　講師　谷本貴志　医師

テーマ：
『動脈硬化症 静かに忍び寄る血管の老化 』

石井先生

谷本先生

全国「検査と健康展」和歌山会場

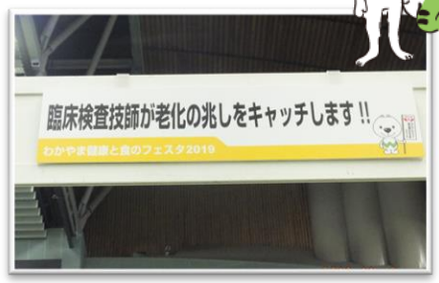
令和元年10月19日（土）10:00～16:00
イオンモール和歌山　イオンホールにて（参加者138名）

国民の皆様の生活習慣病やガンの早期発見のために、定期的な健康診断の重要性を啓発するとともに、臨床検査についての理解を深めていただくために、全国「検査と健康展」は47都道府県で開催されています。
臨床検査技師にしかできないことはもちろんですが、臨床検査技師にもできる医療にもっと参画することができれば需要も認知度も高まりますよね。当日は小さなお子様が一生懸命、顕微鏡をのぞいている姿がとっても印象的でした。
こんなこどもたちが将来、憧れを抱いてくれるような職業になればうれしいなと思いながら参加させて頂きました。

わかやま健康と食のフェスタ2019

2019.11.09(土)～11.10（日）

場所：和歌山ビッグウエーブ



和歌山県主催の「わかやま健康と食のフェスタ2019」に今回初めて和歌山県臨床検査技師会がブースを開きました。
テーマは"臨床検査技師があなたの老化の兆しをキャッチします"ということで、内容は物忘れ診断プログラムを使っての認知症チェック、AGE s センサーを使っての糖化代謝産物より同年代ランキングを測定しました。もうひとつ、あらゆる臨床検査についての質問等におこたえしますということでたくさんの県民の方々と臨床検査および臨床検査技師についてのお話をさせて頂きました。とても集客数の多いイベントで、行政との繋がりを深めることができ、かつ県民のみなさまに臨床検査および臨床検査技師のことを知って頂くのにとてもすばらしい機会でした。このイベントは次年度も引き続き参加する予定です!!

内容：認知症チェック、AGEs測定、検査説明

参加者人数：11/9（土）物忘れ診断プログラム77名　AGEsセンサ200名
11/10（日）物忘れ診断プログラム69名　AGEsセンサ154名

たくさんのご参加ありがとうございました!!

ベッドサイド実践講習会
（2019.11.16-17）
済生会和歌山病院　7階多目的ホール

久保理事

河原先生

木村先生

稲垣先生

奈良岡先生

ベッドサイド実践講習会に参加して
和歌山県立医科大学附属病院　中央検査部　松下　裕　技師

今回の研修会では病棟という場所を学ぶため、患者とのコミュニケーションや患者移送技術、薬理、ベッドサイド危機管理についてそれぞれのスペシャリストにご講演いただきました。とても貴重な経験をさせていただき、私たち臨床検査技師も臨床検査の専門家としてチーム医療に貢献できるように頑張っていこうと思いました。
また他職種の方々から学ぶことの大切さを感じ、このような勉強会には積極的に参加していきたいです。

- **臨床検査技師が他職種業務を知る意義①②**
  日臨技代表理事　宮島　喜文先生
  済生会和歌山病院　臨床検査科
  久保　光史理事
- **看護職から観た患者心理と家族とのコミュニケーション**
  済生会和歌山病院　看護部　河原　歩先生
- **知っておくべき薬理**
  済生会和歌山病院　薬剤部　木村　真先生
- **知っておくべきベッドサイド機器管理**
  和歌山県立医科大学附属病院
  臨床工学技士　稲垣　伸光先生
- **知っておくべき患者移送技術**
  有田市立病院
  リハビリテーション室　奈良岡　隆也先生

和臨技災害フォーラム２０１９
（2019.12.14）
済生会和歌山病院　7階　講堂

岡田先生

北川先生

中住先生

田中副会長　久保理事

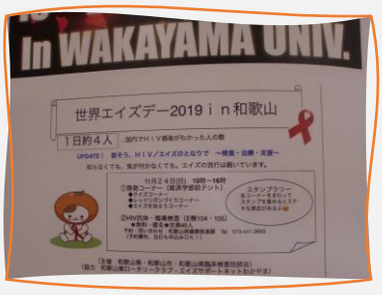
「和歌山県における災害医療対策」
講師　岡田 翔　氏
（和歌山県福祉保健部健康局医務課　地域医療班　副主査）
「災害時のロジスティクスの重要性」
講師　北川 勝巳　氏
（日本赤十字社和歌山医療センター　社会課　係長）
「西日本豪雨災害での経験 ～DHEAT としての派遣経験から～」
講師　中住 公泰　技師
（和歌山県東牟婁振興局健康福祉部　総務健康安全課）

令和元年度HIV即日検査及び啓発活動報告

令和元年11月24日(日)　担当理事　秋田　豊和

◆◆プロローグ◆◆

令和元年11月24日（日）、和歌山大学経済学部棟に8:30集合ということで私は最寄駅を6:18に出発しました。南海本線和歌山大学前で下車し、当初の予定は大学までバスで行くはずが、すでに出発したのか停車しておらず、ちょうど和歌山大学のジャージを着た学生を発見したので付いていくことにしました（尾行ではありません）。15分ぐらい歩くと校門が見えてきたので「やっと着いた」と思ったのも束の間、やっぱりキャンパスは広いですね、なかなか経済学部棟へたどり着きません。この時期にしては気温が高かったせいもあり、キャンパス内でも15分ほど歩いたため、到着時刻もギリギリで汗をびっしょりかいていました。



◆◆活動報告◆◆

到着して最初の仕事は採血＆検査室のレイアウト作成です。患者さんのプライバシーを維持するためにパーテーションを組合せ、椅子と机を配置し、物品の設置が終わったのが9:10頃でした。間髪を入れず和歌山県福祉保健部の方々と患者動線に関するシミュレーションを実施し、ようやく準備が整いました。一方テントでは、パーテーションに啓発ポスターを掲示し、のぼりを掲げ準備完了。例年スタンプラリーの1コマで啓発活動を行っているため流れを紹介すると、隣のブースで和歌山市保健局がUNAIDSのシンボルマークになっているレッドリボンに来客者が激励の言葉を記載しスタンプをもらいます。次に我々のブースでポスター説明を受けてスタンプをもらい、最後に後ろのブースでクイズに答えると景品がもらえます。来客者がブース間を移動中に県の職員が即日検査の勧誘をしておられました。

午前中は来客も少なく、採血はたった2名でした。

しかし、大学祭のメインである14:00からのゲストライブで「キュウソネコカミ」がステージへ上がると、会場に入れなかった観客が一気にブースへ流れ込み、その勢いは終了時刻の16:00まで途絶えることなく、最終的に採血は28名、スタンプラリー参加者（＝ポスター説明をした人数）は204名にもなりました。

◆◆エピローグ◆◆

あっという間の1日でしたが、HIV啓発に貢献できたのではないかと思います。
何より当日協力いただいたスタッフの皆様には感謝の言葉しかありません。
本当にありがとうございました。

帰りは駅まで車で送っていただきました。

第40回 和歌山県医学検査学会関連行事

日時：令和2年2月15日（土）　場所：Hotel&Resorts WAKAYAMA-MINABE

- 令和元年度　和臨技伝達講習会　院内感染対策　　公立那賀病院　口広 智一技師
- 令和元年度（第32回）和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査 合同報告会
- 精度管理システム(JAMTQCシステム)導入に関する説明会
- 令和元年度　和臨技精度管理調査サポート事業

次年度は新たに精度管理システム（JAMTQC システム）の導入を予定しております。これにより精度管理事業全体の一元管理（申込・結果入力・集計・評価・報告・是正調査）に加え、従来よりも一歩踏み込んだ各分野の施設別評価が実現可能になると考えております。ただ、運用方法が従来と大幅に異なりWeb による申込み・結果入力・閲覧等となります。こちらについては、順次説明会を開催致しますのでご参加の程よろしくお願い致します。

40TH WAKAYAMAKEN IGAKUKENSAGAKKAI (2020.02.16)

Hotel&Resorts　WAKAYAMA-MINABEにて開催

KICHUCHIKU STAFF

意見交換会のスライド上演を見逃した皆さまへ
一挙大公開！！

海南医療センター

学会テーマ
「彩- いろどり -」

恵友病院

和歌山県立こころの医療センター

ひだか病院

有田市立病院

国保野上厚生総合病院

北出病院

西岡病院

国立和歌山病院

桜ヶ丘病院

和歌山県医学検査学会はたくさんの方の参加をいただいて、無事終了することができました。
有田で新型コロナウイルスの感染が確認され、大変ご心配をかけているさなかで、大事をとってのキャンセルもありましたが、154名と目標を上回る参加がありました。
皆様のご協力と暖かいご支援に感謝しています。
40回という積み重ねと皆様の真摯に仕事に向き合う姿にも改めて感激しました。
第41回は紀北にバトンを渡しました。来年も和臨技の学会をよろしくお願いします。
ありがとうございました。
紀中地区　第40回和学会実行委員会一同

第４０回和歌山県医学検査学会　関連行事

意見交換会

令和2年2月15日（土）18:30～20:30
Hotel&Resorts　WAKAYAMA-MINABE
1階　インペリアルホール

最後は恒例のお菓子まき！！

ゲーム大会！！

とても楽しい時間を過ごすことができました！！

臨床検査技師連盟だより

新型コロナで様々な活動が中止延期になり、連盟の活動も停滞してしまわないかと心配になりますが、今は、新型コロナ対策を頑張ってなんとか乗り切っていきましょう。PCR検査で頑張っている臨床検査技師が話題に上がることも多くなりました。技師のこれからのために、今こそ連盟への結集をお願いします。政治連盟の年度は1月から12月です。自動引き落とし手続きをされていない方は、改めて加入する必要があります。加入していただいている方には連盟会員証が発行されています。確認して下さい。会費が3000円になって加入数が落ち込みました。再びの加入をよろしくお願いします。

連盟費納付先：日本臨床検査技師連盟　郵便振替口座　00130-1-79120
（通信欄に　日臨技会員番号）
問い合わせ先：日技連和歌山県支部　恵友病院　脇村

●　編　集　後　記　（みかこ＆かきみ）

みかこ

コロナウイルス、ほんと猛威をふるってるよねー!!
日本全国、たいへんなことになってるよねー
(T_T)

みかこ

何がストレスって物資不足もそうよね～。病院でアルコールを設置してても知らん間になくなってるしね～。マスクに至っては使いまわししてます（汗）。でも今が正念場よね!!コロナに打ち勝つためにもがんばろうね!!

みかこ

そうよねー。なんかあっという間の2年間だったよね～。はじめはどうなることかと思ったけど、なんとか今回で4号目を出すことができたね～。

みかこ

どうでしょう？！(´艸`*)
とりあえず、いったん終了ですね。
会員のみなさま、2年間ありがとうございました。
これからも和臨技は永久に不滅です!!また、次回お会いできる日を楽しみにしています!!

そうなんですよ～(T_T)。
家庭も職場もたいへんなことになってます(T_T)。イライラかつストレス満開です!!

かきみ

ほんとですね!!今こそ医療従事者のがんばりどこですよね!!苦しい日も続くかもですけどみんなで乗り越えていきましょう!!
そうそう、みかこさんと一緒に会報を作り始めて、はや2年が経ちましたね～。一応今回でいったん会報担当の任期終了ですね。

かきみ

はい、とりあえず2年間ありがとうございました。楽しかったです(^^)/。
みかことかきみ、引き続き登場できることはありますかね～？！
(´艸`*)

かきみ

一般社団法人和歌山県臨床検査技師会
会報　74号
2019年度　後期（2019.10-2020.03）

みかこ　かきみ

発行所　一般社団法人　和歌山県臨床検査技師会
〒641-8510　和歌山市紀三井寺811－1
和歌山県立医科大学附属病院　中央検査部内
和歌山県臨床検査技師会　事務局　神藤洋次
電話　073-447-2300
FAX　073-441-0529
URL http://www.waringi.jp.org/
Email waringi@wakayama-med.ac.jp
発行人　竹中　正人
編集　山本　須美子　丸澤　佳子